

# 平田出張座談会レポート

参加者の皆さんのまちづくり、地元への想い

## ○まちづくり出張座談会

3月3日(土) 平田集落  
でまちづくり出張座談会が  
行われました。

# みんなであらいたい

(第4回)

## まちづくり活動報告

### 人口減少・担い手不足は

大山町全体の動向もそうだが、平田の人口推移を数字で見るとショックをうけた。人口は減少するということは何となく認識していたが、ここまで大きく減るとは。(60代男性)  
支えてもらわなくても自分でまちづくりに取り組むことが重要。むしろ若い人を支えるという意識を持っている。(60代男性)

### 津波・豪雪から教訓とすることは

平田集落は海に面しており、津波への備えは重要。また、昨年の豪雪時には停電、断線、防災無線も聞こえないなど、まったく情報が入らなかつた。防災の意識は高まっており、これを機に緊急時用にあらかじめ、公民館などに椅子を設置しておき、高齢者の避難に活用してはどうか。(30代男性)

### 大切なことは

きっかけづくりはいいこと。最初はボランティア的な活動になるだろうが、皆で集い、やる気のある人で、まちづくりについて話し合うことが大切。集落内でも周知は行き届いていないが、まずは、平田で育てて大きくなっていききたい。(60代男性)

### まちづくりの取り組みの中で

要支援者マップや自主防災組織などは、個人情報保護の側面があるが、地域の理解とお互いの支えあいの気持ちで作成できる。(40代男性)

### 集落への情報提供

このような集まりを通じて、役場からもちづくりに関する情報を積極的に提供してほしい。(60代男性)



▶まちづくりへ向けた、いろいろなアイデアが出ました(平田)

### 交流会のような集まりを

2月18日の大山町未来づくり交流会では、町内でも様々な団体が活動しているのを知った。福島浩彦さんの講演も参考になった。今回に限らず、有識者や著名人の貴重な講演会を子どもたちにも聞かせたい。(60代男性)

### 自然エネルギーの活用は

自然エネルギーの活用に興味がある。平田集落の地形は高低差があるため、小水力発電を推進できるのではないか。その可能性を役場で探ってほしい。(70代男性)

## 参加者インタビュー

### 谷野 靖彦さん(平田)

座談会に出席してよかった。もっとたくさんの人、特に若い人に参加してほしい。若い方、女性の方がこういった会に参加し、年配の方とコミュニケーションをとらないと、決定事項が一部の人向けになり、全体には合致しない。大山町には外(県外・米子など)からの視点が必要。